M-AUDIO

User Guide

日本語ユーザーガイド

IE-40 | IE-30 | IE-20 XB | IE-10

Professional Reference Earphones

M-AudioのIEプロフェッショナル・リファレンス・イヤフォンをお買い上げ頂きまして誠に有り難うございます。IEイヤフォンは、プロフェッショナルな最高のクオリティのパーソナル・モニタリングを提供し音楽を最大限にお楽しみ頂けるようデザインされています。IEイヤフォンをステージでのモニタリングにお使いになる場合も、デジタル・オーディオ・ワークステーションとお使いになる場合も、単純に音楽を聴く場合にも、IEイヤフォンが究極のオーディオ・パフォーマンスを提供することがお分かりになるはずです。

安全にご使用頂くための警告

M-AudioのIEイヤフォンをご使用になる前に以下の警告と正しいご使用方法を必ずお読み下さい。

⚠ 聴覚の損傷を防ぐために、オーディオ機器で最大音量の50%を超えて使用することは避け、使用時間を1日に1時間以内に制限するよう推奨します。

⚠ M-AudioのIEイヤフォンを耳に挿入する前に、必ず音楽のボリュームを下げて下さい。IEイヤフォンを耳に挿入し装着してから、徐々に適度な音量になるまでボリュームを上げて下さい。

⚠ 大音量（85dB以上）で長時間（1日に1時間以上）使用すると、聴覚に永久的な損傷を与える場合があります。耳鳴りや不快感の症状がある場合には、音楽の音量が大き過ぎることを示しています。

⚠ 聴覚障害は徐々に緩やかに進行します。多くの場合、明らかな警告の徴候が見られません。聴力検査や健康診断が唯一正確に聴覚障害を診断できるものです。以下の症状のうち当てはまるものがあれば、耳鼻科を受診されることを推奨します。

- 耳鳴り、耳の中で不快な音がする
- 会話の聞き取りが難しい
- 音がこもったように聞こえる

聴覚は自己責任!

健全な聴覚は、生活の質や楽しさを享受する上で極めて重要です。聴覚を保護するには、長期に渡り健全な聴覚を保護できるような方法で音楽を聴く必要があります。

OSHA(米国労働安全衛生管理局)では、聴覚障害が発生するまでの最大音圧レベルに接する最大時間について以下の通りガイドラインを定めていますので、よくお読みになり充分にお気を付け下さい。

OSHAの定めた聴取制限時間:

最大音圧レベル dB(A)	**人体に影響を与える聴取時間(1日)**
90	8時間
95	4時間
100	2時間
105	1時間
110	30分

***警告**:どんなに短い時間でも115dB(A)より高い音圧レベルで聞くことは避けて下さい。聴覚が永久的に損傷する恐れがあります。*

前述のOSHAの定めた音圧レベルは最大限度とみなされます。OSHAの制限に準拠することで聴覚障害の可能性を防止する効果があるわけではありません。従ってオーディオ再生機器の許可音量の50%を超えることがなく、イヤフォンの使用を1日に1時間以内に制限することを推奨します。85dB(A)のデシベル・レベルは聴覚に悪影響を及ぼし聴覚障害を引き起こす可能性があります。

詳細はOSHAのウエブサイトwww.osha.govを参照して下さい。

正しいご使用方法

⚠　周囲の音を遮断することで危険が伴う様な環境下では、イヤフォンの使用を避けて下さい。車の運転中、自転車に乗っている間、歩行中、機械の操作時等にはイヤフォンを使用しないで下さい。

⚠　イヤフォンを水の中に入れたり、水気のある場所で使用しないで下さい（「イヤフォンの取扱いとメンテナンス」を参照）。

⚠　使い慣れていないオーディオ機器（飛行機、公共のアクセスポート等）でイヤフォンを使用する場合、オーディオ機器の音量を低く設定し、突然大きな音が生じないようにして下さい。

⚠　M-Audio IEイヤフォンは幼児の手の届かない場所でお使い下さい。本製品には、小さな部品やケーブルが含まれており飲込むと窒息の危険性があります。

⚠　耳に不快感が生じた場合やイヤチップを挿入することが困難な場合（「イヤチップご使用に関してのご提案」を参照）には、イヤフォンを取り外して下さい。耳は敏感ですので、耳の奥に無理に押し込んではいけません。

⚠　使用後に聴力が低下したり普段より耳垢が増えたり不快感等がある場合には、定期的に耳鼻科を受診して下さい。

⚠　M-Audioプロフェッショナル・リファレンス・イヤフォンは、個人の利用を目的とします。イヤフォンを共有する場合、ご使用の前にイヤチップを外し除菌シート等を使用してイヤフォンを掃除して下さい。

製品パッケージ内容

- ユーザーガイド（本書）
- IEリファレンス・イヤフォン（約130cmのコード、ケーブルアジャスタ、金メッキ処理の1/8入力プラグを含む）
- ユニバーサル・フィット・キット：シングルフランジ・シリコンイヤチップ（小2個、大2個／中2個はイヤフォンに装備されています）、ダブルフランジ・シリコンイヤチップ2個、フォームチップ2個
- クリーニング・ツール
- 飛行機用アテニュエータ/リミッター（IE-20XB、IE-30、IE-40にのみ同梱）
- 1/4インチ・アダプタ（IE-20XB、IE-30、IE-40にのみ同梱）
- ハード・メタリック保存ケース（IE-20 XB、IE-30、IE-40にのみ同梱）

イヤフォンのコンポーネント

- イヤフォン ①
- イヤチップ ②
- イヤコンダクタ（イヤチップを取り外した場合にのみ露出）
- イヤループ ③
- クリーニング・ツール ④
- 飛行機用アテニュエータ/リミッター ⑤
- 1/4アダプタ ⑥
- ケーブルアジャスタ – Y字（69ページ参照） ⑦

色および形状はそれぞれの製品/コンポーネントにより異なる場合があります。

ハードメタリック保存ケース、飛行機用アテニュエータ/リミッター、1/4アダプタはIE-10には同梱されません。

イヤチップを装着する

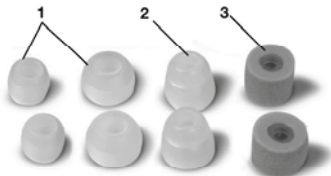
M-Audioでは、各種のイヤチップを同梱し耳に適度な密閉感を得られるようにイヤチップをお選び頂くことができます。耳の形状は、人によって異なるため様々なチップをお試しになり最適な着け心地のチップをお選び頂く必要があります。

シングルフランジ・シリコンイヤチップは、耳への装着感が良く多くの人に人気のあるイヤチップで使い方も簡単です。究極の装着感をお望みなら、密着感の高いフォームチップをお試し下さい（詳細は「イヤチップご使用に関してのご提案」を参照して下さい）。

IEイヤフォンには、中サイズのシングルフランジ・シリコンイヤチップ2個が予め取り付けられています。イヤフォンには、その他に以下のチップが同梱されています。

① シングルフランジ・シリコンイヤチップ（小2個、大2個）

② ダブルフランジ・シリコンイヤチップ

③ フォームイヤチップ

イヤチップの装着

イヤチップを軽く指でつまんで回転させながらイヤコンダクターに装着/取り外しができます。イヤチップは、イヤコンダクターの上にしっかりと固定されている必要があります。イヤチップを一旦固定すると、イヤコンダクターは隠れた状態になります。

フランジ・シリコンイヤチップの取扱いとクリーニング

フランジ・シリコンイヤチップは、何度も繰り返し使用できますが使用する毎に除菌シートでクリーニングする必要があります。イヤチップは、定期的に取り外して中性洗剤で洗って下さい。完全に乾燥させてからイヤチップをイヤコンダクターに装着して下さい。

フォームイヤチップの取扱い

フォームイヤチップは使い捨てです。数回の使用に耐えますが、変色した場合は即座に捨てて新しいものと取り替えてお使い下さい。

オーディオ機器に接続する

IEイヤフォンには、1/8入力端子が装備され1/8端子を装備したオーディオ機器と接続することができます。更にIE-20 XB、IE-30、IE-40イヤフォンでは、同梱の1/4アダプタを使用してその他多くの民生用オーディオ機器にも接続することができます。

イヤフォンの装着

快適さを高め最適なリスニング環境を実現するためには、イヤフォンの装着時に耳に確実にフィットすることが重要です。イヤフォンにより耳が正しく密閉されると周囲の音が遮断され音楽を聴く時に、最適の周波数レスポンスが得られます

イヤフォンの装着についてのデモは、
http://www.m-audio.jp/earphonesでご覧になれます。

⚠ お使いになるオーディオ機器の音量が最小であることを確認して下さい。確認後にイヤフォンをオーディオ機器の出力端子に接続します。

手順1

IE-30、IE-10、IE-40の場合：左耳用イヤフォン（本体に「L」と表記）と右耳用イヤフォン（本体に「R」と表記）を確認します。コードを上にしてのロゴが前面を向くようにイヤフォンを持ち、イヤチップを耳の穴にゆっくり挿入します。

IE-20 XBの場合：左耳用イヤフォン（本体に「L」と表記）と右耳用イヤフォン（本体に「R」と表記）を確認します。コードを上にしてのロゴがそれぞれ左右を向くようにイヤフォンを持ち、イヤチップを耳の穴にゆっくり挿入します。

手順2

イヤフォンのコードは、上に向いたままの状態でイヤチップが耳の穴に快適に収まるように少し内側へ押します。この時には、無理に押し込まないよう注意して下さい。

手順1

手順2

手順3

次に最適な密閉感が得られる様、イヤフォンをゆっくりと外側へ少し戻します（注意：装着方法に問題がある場合はの「イヤチップ使用上のご提案」を参照して下さい）。

手順4

イヤループが耳の後ろ側を通る様にしてイヤフォンを固定します。ケーブルは耳の後ろから背中側または胸側にぶら下げます。Y字のつなぎ目付近にあるスライダを上下に調節してケーブルの長さを調節します。

オーディオ機器の音量を徐々に上げて行くとイヤフォンからサウンドを聴くことができます。

イヤフォンを適切に取り外す

まずイヤフォンを指でつまみ、ほんの少しだけ内側に押すと密閉状態が解消されます。次にイヤフォンをゆっくりと耳から外に取り出します。イヤフォンは、次回の使用に備えてクリーニングした後メタリックケースに収納して下さい。

***注意：**イヤフォンを外す時には、ケーブルを引っ張らないように注意して下さい。断線の要因となります。*

手順3

手順4

イヤフォンの取扱いとメンテナンス

- イヤフォンは毎回必ず除菌シートでクリーニングして下さい。
- イヤフォンを水気のある場所や湿度の高い所で保管/使用しないで下さい。
- イヤコンダクターは、クリーニング・ツールで定期的に掃除し清潔に保って下さい。
- イヤチップを定期的にクリーニングし交換して下さい。
- イヤフォンが損傷しないよう取扱いに気をつけて下さい。イヤフォンを落下/衝突させると部品が損傷します。
- 耳からイヤフォンを取り出す時ケーブルを引っ張らないように注意して下さい。
- オーディオ機器からイヤフォンの接続を外す場合、ケーブルを引っ張らないように注意して下さい。

クリーニング・ツールを使用する

- イヤチップを取り外しイヤコンダクターの外側を除菌シートで拭きます。
- クリーニング・ツールでイヤコンダクターの内側を上下させてたまったゴミを取り除きます。
- 除菌シートでイヤコンダクターをクリーニングして清潔なイヤチップを装着します。

イヤチップ使用上のご提案

- イヤフォンのイヤチップで適度な密閉感を得られず不快感を伴う場合、他のイヤチップに付け替えて装着感を確認し、最適なイヤチップを選んでお使い下さい。
- イヤチップを耳の穴に挿入するのが困難な場合、まず左のイヤフォン(「L」表記)と右のイヤフォン(「R」表記)を確認します。イヤフォンは片方ずつ装着しますが、まず装着する方の耳たぶの上部をつかんで上方から外側に少しひっぱり耳の穴を広く開きながらイヤフォンを耳の穴に挿入し少し外側に戻して固定します。
- フランジ・シリコンイヤチップで密閉感が得られない場合：フランジ・シリコンイヤチップの外側を湿らせてから耳の穴に入れると密閉感が良くなる場合があります。イヤチップが簡単に耳の中の適切な場所に収まり密閉感が増します。
- フォームイヤチップの装着方法：イヤフォンの先端部に取り付けたフォームイヤチップを親指と人差し指で軽くつまんでフォームを圧縮してから耳の穴に差し込みます。そのまま5秒間イヤフォンを持ったまま、フォームが膨張し耳の穴にぴったりと密閉されるまで待ちます。

トラブルシューティング

- **サウンドがだんだん聴こえ難くなる場合**

  長時間の使用に伴い聴こえ難くなった場合は、クリーニング・ツールを使ってイヤコンダクターの内側/外側を掃除し汚れを取り除きます。

- **サウンドが出力されない場合**

  サウンドが聴こえない場合、まずオーディオ機器へイヤフォンが適切に接続されていることを確認してから、オーディオ機器の音量を少しずつ上げてみます。それでもサウンドが出力されない場合は、イヤフォンとケーブルの接続を確認します。

上記以外の問題が発生した場合や本製品に関するお問い合わせは、エムオーディオのカスタマーサービスにご連絡下さい。

製品の特性

特性	IE-10	IE-20 XB	IE-30	IE-40
スピーカータイプ	バランスド・アーマチュア方式	バランスド・アーマチュア、ダイナミック・ドライバ	バランスド・アーマチュア2基	バランスド・アーマチュア3基
入力感度	115dB/mW	119dB/mW	119dB/mW	117dB/mW
インピーダンス	13 ohms (@1kHz)	11 ohms (@1kHz)	21 ohms (@1kHz)	32 ohms (@1kHz)
ケーブルの長さ	約120cm	約120cm	約120cm	約120cm
総合的な重量	.5 oz	.7 oz	.6 oz	.6 oz
入力端子	1/8″(3.5mm)金メッキ	1/8″(3.5mm)金メッキ	1/8″(3.5mm)金メッキ	1/8″(3.5mm)金メッキ
ノイズアイソレーション	26dB	16dB	26dB	26dB

別売りのアクセサリ

M-Audioでは、末永くIEプロフェッショナル・リファレンス・イヤフォンをご使用して頂くために様々なアクセサリを販売しています。万一、ケーブルが断線したりイヤチップが汚れた場合にも安心です。アクセサリの詳細はhttp://www.m-audio.jp/のウエブサイトを参照して下さい。

製品保証

保証規定

エムオーディオでは安全上のご注意に基づいて適切に使用されている場合に限り、本製品をお買い上げいただいた日より一年間は保証期間となり修理は無償で行います。しかしながら、不適切な使用方法による破損の場合、ご購入者が所有していない場合、エムオーディオでのユーザー登録がお済みでない場合などは保証の対象となりません。但し、電源アダプタやケーブルなどの付属品は、適切な使用の結果不具合が生じた場合でも保証対象には含まれません（初期不良の場合は除く）。お使いの製品に対応する保証規定はwww.m-audio.jp/warrantyでご覧下さい。

エムオーディオへ製品を送付する場合には、事前にエムオーディオのRA（Return Authorization）番号を取得する必要があります。製品のRA番号を取得するには、エムオーディオへご連絡頂ければ、エムオーディオのカスタマーサービスが症状などをお伺いしエムオーディオへ製品の送付が必要と判断した場合にRA番号を発行させて頂きます。製品のRA番号を取得後、具体的な症状や送付理由を書面に記述し、製品を保護する安全な梱包を施した上、外装パッケージにRA番号を明記しM-Audioまで送付下さい。製品の修理には発送時の送料、返却時の送料と発生し得る手数料はご購入者の負担となります（初期不良の場合は除く）。

ユーザー登録

エムオーディオへお問い合わせ頂く場合には、エムオーディオでのユーザー登録を完了しなければ製品保証や技術的なサポートを受けることができません。ユーザー登録を行うには、次の2つの方法があります。環境に合わせた方法でユーザー登録を行って下さい。1.）コンピュータで（一般的なWebブラウザ）エムオーディオWebサイトへアクセスできる方：エムオーディオ オンラインユーザー登録ページhttp://www.m-audio.jp/register/にて、必要事項を入力して送信して下さい。2.）携帯電話でエムオーディオWebサイトへアクセスできる方：エムオーディオ モバイルサイトのオンラインユーザー登録ページhttp://web.m-audio.jp/mobile/にて、必要事項を入力して送信して下さい。（注意：ユーザー登録完了の御案内は行っておりませんのでご了承下さい。）

欧州連合のための証明

この製品は、ヨーロッパのEMC Directive 89/336/EECに従います。ヨーロッパのスタンダードEN 55103(1996)Parts 1と2、住居(E1)で小さい産業の(E2)環境のために適用できるテストとパフォーマンス基準を満たします。

警告:この製品の基盤には、米国カリフォルニア州においえて癌、先天性異常、生殖異常の原因とそいて知られる鉛を含む化学物質が含まれます。**ご使用後は手を洗って下さい**。

日本語

M-AUDIO

M-Audio USA 5795 Martin Rd., Irwindale, CA 91706

Technical Support	Sales
web: . . . . www.m-audio.com/tech	e-mail: . . . . sales@m-audio.com
tel (pro products): . . . . (626) 633-9055	tel: 1-866-657-6434
tel (consumer products): . . . . (626) 633-9066	fax: . . . . (626) 633-9070
fax (shipping): . . . . (626) 633-9032	**Web** . . . . www.m-audio.com

M-Audio U.K. Floor 6, Gresham House, 53 Clarenden Road,
Watford, WD17 1LA, United Kingdom

Technical Support	Sales
e-mail: . . . . support@maudio.co.uk	tel: . . . . +44 (0)1923 204010
tel:(Mac support): . . . . +44 (0)1765 650072	fax: . . . . +44 (0)1923 204039
tel: (PC support):. . . . . +44 (0)1309 671301	**Web** . . . . www.maudio.co.uk

M-Audio France Floor 6, Gresham House, 53 Clarenden Road,
Watford, WD17 1LA, United Kingdom

Renseignements Commerciaux	Assistance Technique
tel : 0 810 001 105	e-mail : . . . . support@m-audio.fr
e-mail : . . . . .info@m-audio.fr	. . . . mac@m-audio.fr
Assistance Technique	fax : . . . . +33 (0)1 72 72 90 52
PC : 0 820 000 731	**Site Web** . . . . www.m-audio.fr
Mac : 0 820 391 191	

M-Audio Germany Kuhallmand 34, D-74613 Ohringen, Germany

Technical Support	Sales
e-mail: . . . . support@m-audio.de	e-mail: . . . . .info@m-audio.de
tel: . . . . +49 (0)7941 - 9870030	tel: . . . .+49 (0)7941 98 7000
fax: . . . .+49 (0)7941 98 70070	fax: . . . . +49 (0)7941 98 70070
	Web . . . . www.m-audio.de

M-Audio Canada 1400 St-Jean Baptiste Ave. #150, Quebec City,
Quebec G2E 5B7, Canada

Technical Support	Sales
e-mail: . . . . .techcanada@m-audio.com	e-mail: . . . . infocanada@m-audio.com
phone: . . . . (418) 872-0444	phone: . . . . (866) 872-0444
fax: . . . . (418) 872-0034	fax: . . . . (418) 872-0034
	Web . . . . .www.m-audio.ca

M-Audio Japan アビッドテクノロジー株式会社｜エムオーディオ事業部
460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内2-18-10

カスタマーサポート	セールス
e-mail: . . . . win-support@m-audio.jp	e-mail: . . . . .info@m-audio.jp
e-mail（Macintosh環境）: . . win-support@m-audio.jp	phone: 052-218-3375
phone: . . .052-218-0859（10:00-12:00／13:00-17:00）	fax: 052-218-0875
	Web . . . . www.m-audio.jp